

日本での半年を振り返って

同徳女子大学

イ・ドギョム

学籍番号 k2490046

羽田空港で初めて東京の風景を目にして、期待と緊張を感じたのがつい昨日のことのように鮮明ですが、もうすぐ交換留学生として過ごせる時間が終わるとは、信じられません。将来もし機会があればまた勉強や就職のために来たいと思うほど、多くの方々のおかげで、本当に楽しい時間を過ごすことができました。

私は理学部情報科学科の学生であり、交換留学生として様々な科目を履修しました。特に情報科学科の授業では、データを扱う方法を学び、それをもとにプログラミング実習をして、専攻分野への理解を深めることができました。また上級 B 漢字と日本事情演習ⅢB は、NI レベルの漢字、そして日本の就職についての授業で、留学生向けの科目でした。上級 B 漢字では、授業を受ける友達と一緒に難しい問題を解けるように指導してくださり、留学生に配慮して教えてくださったのおかげで、漢字に親しむことができましたと思います。日本事情演習ⅢB では、日本の就職について多角的に学び、準備することができました。毎回行われたディスカッションや発表のおかげで、知識の向上はもちろん、日本語の実力も伸びました。また、普段から興味があった都市地理学や論理学の授業を受講して、専攻分野以外の知識も広げることができました。専門科目を母国語ではない言語で履修することは容易ではありませんでしたが、多くの方々に助けていただいたのおかげで、最後まで諦めずに努力を続け、学業をやり遂げることができました。



授業が終わった後、日本を直接体験する時間も楽しかったです。寮の近くにある丸ノ内線を利用して、池袋や渋谷、銀座などの繁華街にも気軽に行くことができました。それに浅草や横浜などの観光地も簡単に行くことができました。

さらに、様々な国の人々と日本語でコミュニケーションをとることができたのも有意義な経験でした。友達と一緒に寮

の共用キッチンを借りて料理をしたり、クリスマスを祝ったり、多くの人と大切な思い出を作ることができました。

日本での交換留学生生活を円滑に送ることができたのは、多くの方々のお力添えがあったからこそです。交換留学生の生活全般をサポートしていただき、留学生とお茶の水女子大学の学生との交流の場を設けてくださった国際課の方々、萩原先生、櫻井先生、本当にありがとうございました。また、専攻科目の先生であり指導教員でもある小林先生には、学業と親睦の両立ができるよう細やかな配慮をいただき、心より感謝申し上げます。さらに、寮生活について親切に対応してくださった管理室の方々にも感謝の意を表します。同じ情報科学科の学生として、また友人として私を助けてくれたお茶の水女子大学のチューターにもお世話になり、改めてお礼を申し上げます。そして、一緒に勉強したすべての友人のおかげで幸せな時間を過ごすことができました。

